

留学をしてから4か月が経ちました。だいぶこっちは慣れてきたと思います。今月から新しいタームが始まりました。今回は、私が通っている学校について紹介したいと思います。

私は今、Mitcham Girls High School という女子校に通っています。生徒はみんな元気で親切な人が多いです。髪の毛を染めたり、メイクやネイル、アルバイトも許されていて、私にとっては、自由でのびのびとした雰囲気を感じました。学校は8:45にはじまり15:15まで授業があります。朝の会や帰りの会、加えて授業間の休み時間もないので比較的に早く学校が終わります。休み時間はリセスとランチタイムの、食事の時間のみです。授業は6限あり、一つの授業時間は基本的に1時間です。水曜日は5限で終了するのでいつもより1時間早く帰れます。また、朝の会や帰りの会の代わりに、LEAP と呼ばれる時間があります。そこで、教科以外の、日本でいう総合の時間のような活動や、行事についての取り決めなどを行います。

次に、授業についてです。こちらの授業ではすべての授業で、パソコンを使っています。10歳のホストブラザーもパソコンを使っているほど、パソコンを使った教育に力を入れていると感じました。課題はほぼほぼパソコンでこなし、教科書ではなく、先生が用意したパワーポイントのスライドなどで学びます。また、先生が説明して生徒がノートを取って進めていくより、生徒が文献などをパソコンで調べたり、授業のトピックについてパワーポイントを作るなど、生徒が自主的に取り組むようにして進めていく授業が多いです。私がギャップを感じたのは、生徒の授業態度です。わからないことがあればその場で手を挙げて先生に質問します。先生が説明している間でも手を挙げるので、そこに驚きました。また、先生が質問を投げかけた時は、生徒の半数近くやそれ以上が手を挙げることもありました。加えて、生徒と先生の距離感にも驚きました。これは、文化や言語の違いとも言えると思いますが、生徒がわりとフラットに先生と話しています。英語は複雑な日本語とは違い、丁寧に言う言い方はありますが、生徒が先生と話すとき、語尾を変えたり、動詞が変形するようなことがないので、友達と話している言葉と大差なく聞こえ、私はすこし違和感を覚えました。一番驚いたのは、学年集会のような時間に先生が学校の校則について説明した際、ルールに納得できない生徒がその必要性や納得できない部分について積極的に質問をしていたことです。一人ではなくたくさんの生徒が質問をしていました。白鷗では見たことない光景にとっても驚きました。日本とオーストラリアで教育や考え方の違いはありますが、どちらも素晴らしい面をたくさん持っていると感じました。

白鷗高校 15期生 次世代リーダー育成道場 11期生 N.F